



安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	腸内細菌遺伝子検出キット-高速蛍光検出-
製品コード	FIK-311
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途及び使用上の制限	PCRによる遺伝子検出 (研究用試薬)

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響	常温で特に危険性はない。 UNGは、眼刺激性のあるグリセロールが含まれる。有害性に関する調査が十分ではないので、取扱いには注意する。
物理的・化学的危険性	
健康有害性	

GHS分類	<UNG>	<PCR Master Mix>	<PCR Master Mix>
物理的・化学的危険性	引火性液体	区分外	区分外
健康有害性	眼損傷・眼刺激性	区分2B	分類できない
環境有害性		分類できない	分類できない

ラベル要素

<UNG>	—
絵表示又はシンボル:	—
注意喚起語:	警告
危険有害性情報:	眼刺激
注意書き:	—
安全対策(予防策)	—
応急措置(対応)	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

<PCR Master Mix>
分類に該当せず、ラベル表記なし。

<PCR Master Mix>
分類に該当せず、ラベル表記なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物	混合物(水溶液)	
化学特性		
パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
PCR Master Mix	トリス (ヒドロキシメチル) ㊦ミノメタン	77-86-1
	デオキシアデノシン三リン酸	1927-31-7
	デオキシシチジン三リン酸	102783-51-7
	デオキシグアノシン三リン酸	93919-41-6
	デオキシウリジン三リン酸	102814-08-4
	1,3-プロパンジオール	504-63-2
	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニル = エーテル	9016-45-9
	EvaGreen® dye	—
	DNAポリメラーゼ	(EC 2.7.7.7)
	タンパク質(マウスモノクローナル抗体)	—
	グリセロール	56-81-5



安全データシート

3. 組成及び成分情報(続き)

パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
UNG(Uracil-DNA Glycosylase)	UNG (ウラシルDNAグリコシラーゼ)	59088-21-0
10×Primer Mix	グリセロール	56-81-5
	デオキシリボ核酸	—
	トリス (ヒドロキシメチル) アミノメタン	77-86-1
	エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム	139-33-3
危険有害成分 化学名又は一般名	1, 3-プロパンジオール ポリ(オキシエチレン) =ノニルフェニル= エーテル	グリセロール
別名	トリメチレン グリコール ノニデットP-40	グリセリン
含まれるパーツと含有量	PCR Master Mix 7.5%	PCR Master Mix 0.01%
		PCR Master Mix 2.5%
		UNG 50%
化学特性(化学式)	HOCH ₂ CH ₂ CH ₂ OH	HO(C ₂ H ₄ O) _n -C ₆ H ₄ -C ₉ H ₁₉
CAS番号	504-63-2	9016-45-9
官報公示整理番号 化審法:	2-234	7-172
安衛法:	公表	公表
		CH ₂ OHCHOHCH ₂ OH
		56-81-5
		2-242
		公表

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分洗い流す。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受ける。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受ける。
飲み込んだ場合	意識のある場合には、水で口の中を洗浄し、速やかに医師の手当てを受ける。無理に吐かせない。意識のない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置

消火剤	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤。
消火を行う者の保護	消火は風上から行う。 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業を行う際は保護具を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避けるように注意する。
環境に対する注意事項	直接河川など環境中に放出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	使用時は保護具を着用し、人体に接触しないように十分に配慮する。
安全取扱い注意事項	取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
衛生対策	使用後はよく手を洗う。
保管	
適切な保管条件	密閉容器にて-20±5℃で保管する。 直射日光、強酸化剤、還元剤の接触を避ける。
安全な容器包装材料	本製品に使用されている容器内で保管する。



安全データシート

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策
許容濃度

日本産業衛生学会勧告値
ACGIH TLV
OSHA PEL

必要に応じて喚起システムを設ける

1,3-プロパンジオール グリセロール
(ミスト)

設定されていない 設定されていない
設定されていない 10mg/m³
設定されていない total dust :
15mg/m³TWA
respirable fr. :
5mg/m³TWA

ポリ(オキシエチレン)
=ノニルフェニル=
エーテル

設定されていない
設定されていない
設定されていない

保護具

呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

必要に応じてマスクを着用する。
ゴム手袋を着用する。
保護眼鏡を着用する。
必要に応じて保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理学的状態、形状、色)

臭い
pH
引火点

爆発特性
比重
溶解性

常温で液体、-15℃以下では固体。

UNG、10×Primer Mixは無色透明。PCR Master Mixは、黄色から橙色。
全てのパーツでほとんど無臭。

6.0~9.0

水溶液のため引火性はないと考えられるが、PCR Master Mixは水分蒸
発後131℃の引火点を持つ1,3-プロパンジオールが残留する。また、
UNGは水分蒸発後160℃の引火点を持つグリセロールが残留する。

常温では爆発性なし。

1.0-1.2

水に可溶。

10. 安定性及び反応性

安定性
反応性
避けるべき条件
危険有害な分解生成物

-20±5℃で安定である。

通常の条件下では安定である。

高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤
知見なし

11. 有害性情報

急性毒性
局所効果
各成分の有害性情報

データなし。

眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。

1,3-プロパンジオール グリセロール ポリ(オキシエチレン)
=ノニルフェニル=
エーテル

急性毒性(LD50)

マウス経口 :
4773mg/kg マウス経口:4090mg/kg
ラット経口:12.6g/kg

エチレンオキシドの付
加モル数により、毒性
値が著しく異なる。
1300mg/kg(付加モル数
10の場合)、
>15900mg/kg(付加モル
数20の場合)。

発癌性

日本産業衛生学会
IARC
ACGIH

記載なし
記載なし
記載なし

記載なし
記載なし
記載なし

記載なし
記載なし
記載なし



安全データシート

12. 環境影響情報

移動性
残留性・分解性

水溶性あり、水系に拡散する。
データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。本製品の低濃度廃水は活性汚泥処理を行うことができる。焼却する場合には、焼却設備により大気汚染防止法令等に従い、おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却する。

汚染容器・包装

その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上

航空

国内規則

陸上

海上

航空

輸送の特定の安全対策及び条件

非危険物
非危険物

非危険物
非危険物
非危険物

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

輸送に関する法規制は、14. 輸送上の注意の項参照。

	1, 3-プロパンジオール	グリセロール	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニル = エーテル
消防法	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体(水溶液のため対象外)	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体(水溶液のため対象外)	該当しない
欧州REACH規制	該当しない	該当しない	高懸念物質
海洋汚染防止法	該当しない	施行令別表第1有害液体物質(Z類物質)	環境省告示・査定物質(Y類同等の有害液体物質)
化学物質管理促進法 指定化学物質(政令番号)	該当しない	該当しない	法第2条第2項、施行令第1条別表第一種指定化学物質

16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>
NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものですので、特別の手配をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。